

参加者募集

再生と変容

— 移りゆく社会をとらえる —

〈2014年度 講座一覧(予定)〉

4/19 (土) 担当教員 猪飼 周平
生活の再建 — 生きる力を保障する政策とは —

5/10 (土) 担当教員 中田 康彦
教育改革の変容と教育再生

6/21 (土) 担当教員 中島 由美
ことばと文化にみる再生と変容 — 沖縄と日本 —

7/19 (土) 担当教員 佐藤 仁史
「迷信」から無形文化財へ
 — 近現代中国における民俗文化の復興と変容 —

9/20 (土) 担当教員 石居 人也
「東京」と向きあう地域社会の近代
 — 多摩から考える —

10/18 (土) 担当教員 福富 満久
中東における米国の覇権主義と安全保障
 — シェール革命が変える国際政治 —

11/15 (土) 担当教員 宮地 尚子
心を護り、耕すということ

12/20 (土) 担当教員 中北 浩爾
自民党政治の再生と変容

一橋大学社会学部と読売新聞立川支局は2014年4月から、共催による全8回の連続市民講座を行います。12月まではほぼ1か月に1回のペースで行い、講座は社会学部の教員スタッフが担当します。

今回は共通テーマに「再生と変容」を掲げます。社会学部の学際的で総合的な特徴を生かし、社会保障や教育、地域社会などの身近な話題から国内外の政治・経済の動きまで幅広く取り上げます。講座では、専門家である教員が、わかりやすい言葉で解説しますので、ふるってご参加ください。



参加方法

参加は無料。

事前申し込みは不要。どなたでも入場できますので、会場まで直接お越しください。6回以上出席した参加者には修了証を発行します。

会場

**一橋大学
 国立西キャンパス
 (国立市中2-1)
 兼松講堂**

時間

13:30~15:00

問い合わせ先

一橋大学社会学部事務室 TEL:042-580-8212
 E-mail:info@soc.hit-u.ac.jp
 開催予定や会場などは変更される可能性があります。その場合は、一橋大学のホームページ
 (<http://www.hit-u.ac.jp/>)にてお知らせします。



いま日本と世界はどこへ向かっているのでしょうか。社会や政治、経済や文化に関するこれまでの常識や理解は、20世紀末以降の混乱と模索をへて、その有効性を低下させてきました。他方で、新しい方向性がゆっくりとではありますが、私たちの前に姿を現しつつあるようにもみえます。



町村 敬志

一橋大学社会学部部長

2014年度の連続市民講座

では、この変化する時代をとらえるための視点を、本学部の強みを生かし幅広い角度から提示したいと思います。キーワードは「再生と変容」です。過ぎ去っていったものは、どのような相貌で甦り、私たちに新たな問いを発しているのでしょうか。見慣れたもの、よく知っているはずのものが、思わぬ発見と展望をもたらしてくれることを、お伝えできたらと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

読売新聞と多摩地域の大学による連続市民講座は、今年で10年目を迎えます。これまで芸術から先端科学まで多彩なテーマを扱ってきましたが、「現代社会に生きるヒントを見出していきたい」との思いは一貫してきました。今回の年間テーマは「再生と変容」。



阿部 好宏

読売新聞立川支局長

2006年度に続き共催する一橋大学の一流講師陣が、政治的にも経済的にも大きな転換点を迎えている日本の在りようと、わたしたちが不透明な時代をどう生きたいのかを、市民の視線で分かりやすく解き明かしてくれることと思います。全8回、中身の濃い連続講座に、ぜひとも足をお運びください。

講座担当教員

猪飼 周平(いかい しゅうへい)教授

専門は社会政策、医療政策。人が暮らしたり、それを支えたりするということはどういうことか。社会政策学は根本的にこの問いに還元される。思えば私の研究は医療の領域でこの問題を考察することだった。その足跡が『病院の世紀の理論』(有斐閣)。担当科目は「社会政策」など。

中田 康彦(なかた やすひこ)教授

専門分野は教育政策。アメリカの教員評価を中心に教師に関する法制を研究し、近年は教育改革や学校づくりの過程分析にとりこんでいる。編著に『開かれた学校づくりと学校評価』(学事出版)、『大阪「教育改革」が問う教育と民主主義』(かがわ出版)など。担当科目は「教育政策」「比較教育学」「教育社会学」など。

中島 由美(なかじま ゆみ)教授

専門は言語学、中でも方言研究に取り組んできた。旧ユーゴスラヴィア地域と、奄美・沖縄を中心とする日本双方のフィールドで現地調査による研究実績を積むとともに、言語と社会の関係を客観的に捉える視点の確立を目指している。主著は『バルカンをフィールドワークする』(大修館書店)など。担当科目は「ことばと社会」「言語社会学」など。

佐藤 仁史(さとう よしふみ)教授

専門分野は中国近現代史。地方文献や農漁山村における語りを蒐集しつつ、地域社会やコミュニティの角度から近現代中国の社会変容過程を考えている。主著は『近代中国の郷土意識』(研文出版)。担当科目は「アジア社会史総論」など。

石居 人也(いしい ひとなり)准教授

専門分野は日本近代史。前近代からの展開、現代との往還を意識しつつ、近代の日本社会を、生・老・病・死と向きあう人や社会、都市と郊外の地域社会に注目して研究している。共著に『近代都市の装置と統治』(日本経済評論社)、『近代日本の「他者」と向き合う』(解放出版社)など。担当科目は「日本社会史総論」など。

富富 満久(ふくとみ みつひさ)准教授

専門は国際政治学・国際関係論。中東問題に焦点を当てた米国の外交戦略や、G0世界における安全保障研究に取り組んでいる。昨今のリビアやシリアに対する軍事介入の論理についての考察も行っている。主著に『中東・北アフリカの体制崩壊と民主化』(岩波書店)など。担当科目は「地球社会研究」「移動研究」など。

宮地 尚子(みやじ なおこ)教授

専門は文化精神医学、ジェンダーとセクシュアリティ論、国際保健など。人の心や病と、社会や文化との関わりを研究してきた。主著に『トラウマ』(岩波書店)、『震災トラウマと復興ストレス』(岩波書店)、『傷を愛せるか』(大月書店)、『環状島=トラウマの地政学』(みすず書房)など。担当科目は「トラウマと地球社会」など。

中北 浩爾(なかきた こうじ)教授

専門分野は政治学。特に日本政治史・現代日本政治論を専攻し、戦後、今日に至るまでの日本の政党政治について研究してきた。主著に、『経済復興と戦後政治』(東京大学出版会)、『一九五五年体制の成立』(東京大学出版会)、『現代日本の政党デモクラシー』(岩波書店)など。担当科目は「政治学」「政治過程論」など。